

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第50週の発生動向

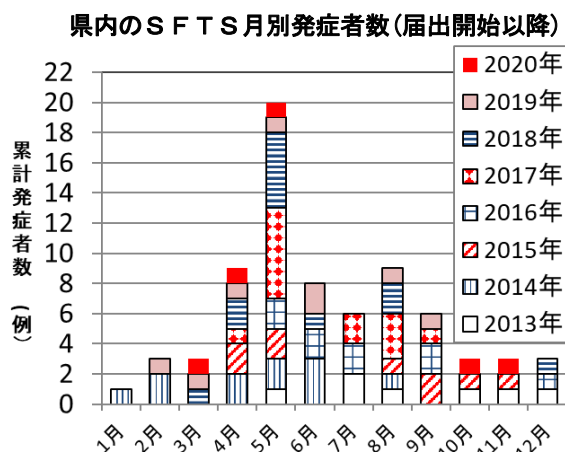
トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が延岡保健所管内から1例あった。患者は80歳代の男性で、11月下旬に発症し、12月初旬に死亡した。また、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は今年5例目で、累計74例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	19	25	18	5



・**新型コロナウイルス感染症**(指定感染症)の報告が46例あった。前週までの届出は565例であり、届出総数は611例となった。

全数報告の感染症 (50週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病4例。5類感染症：梅毒2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等	
2類	結核	都城	80歳代	女	肺結核	発熱	
			90歳代	男	肺結核	—	
4類	重症熱性血小板減少症候群	延岡	80歳代	男	—	発熱、神経症状、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、紫斑、消化管出血	
			宮崎市	60歳代	男	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			都城	40歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
			小林	80歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹、食欲不振、倦怠感
			日向	50歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
5類	梅毒	宮崎市	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹	
			40歳代	男	無症状病原体保有者	—	

指定感染症 (50週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	報告保健所	報告数	年齢群										症状
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代		
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	27例	1	1	4	7	7	4		1	2	発熱、咳、倦怠感、咽頭痛、頭痛、嗅覚・味覚障害等	
	都城	5例				1	1	3					
	延岡	9例				2	2	2	2	1			
	高鍋	1例			1								
	日向	4例			1	1		1	1				

《前週との比較》

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は355人(定点当たり10.0)で、前週比107%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘及び手足口病で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

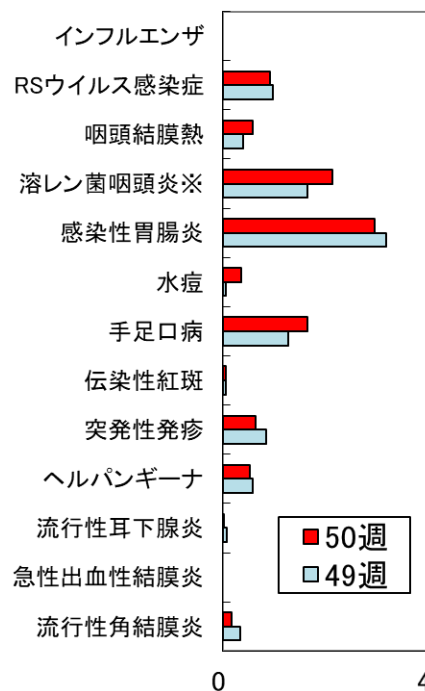
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は77人(2.1)で、前週比131%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.0)の約0.7倍であった。日南(8.3)、延岡(3.3)、宮崎市(2.1)保健所からの報告が多く、年齢群別は3～6歳が全体の約6割を占めた。

【手足口病】

報告数は59人(1.6)で、前週比128%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.9)の約1.9倍であった。日南(8.3)、都城(2.7)、高千穂(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1～3歳が全体の約8割を占めた。

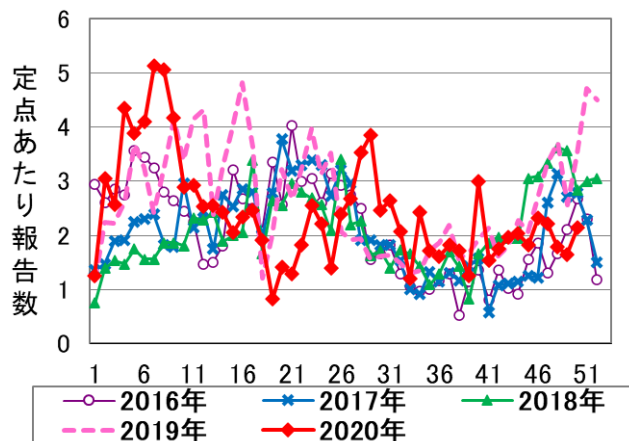
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



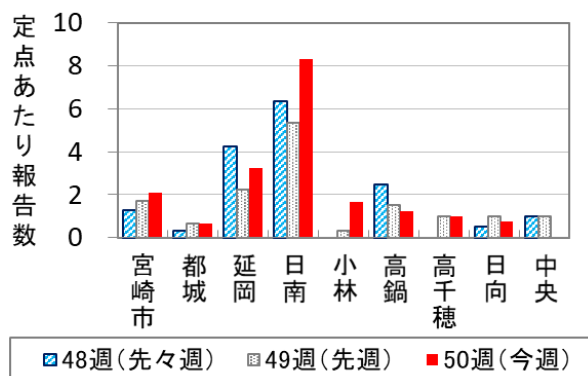
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

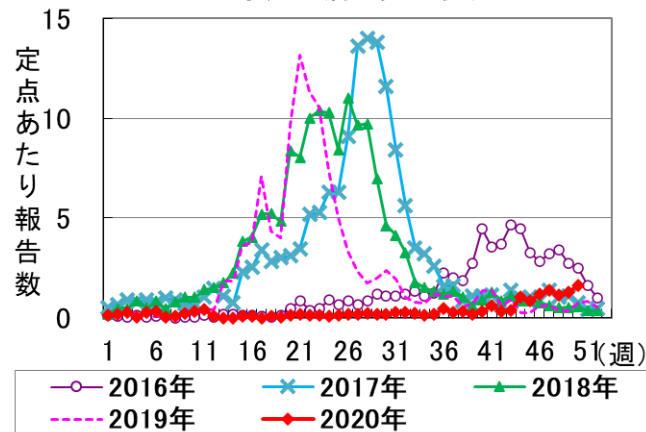
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



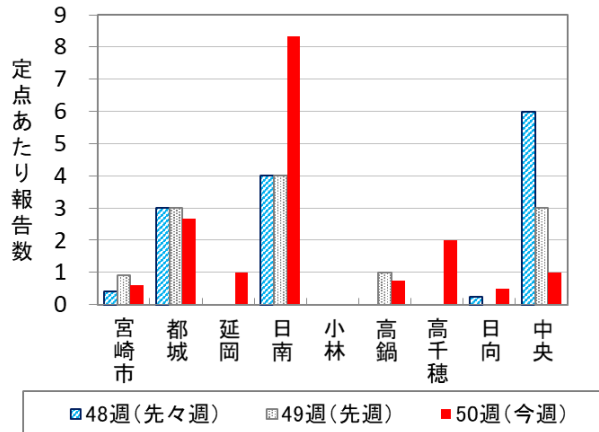
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.3) 手足口病(8.3)
小林	水痘(1.0)
高鍋	なし
高千穂	水痘(1.0)
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※
 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
 ・手足口病(5)

※流行注意報レベル基準値※
 ・水痘(1)

📊 全国 2020 年第 49 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 49 週）

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	242 例			
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	26 例	
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	1 例	重症熱性血小板減少症候群
	つつが虫病	57 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱
	レジオネラ症	20 例			
5類感染症	アメーバ赤痢	1 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症
	急性脳炎	3 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
	後天性免疫不全症候群	14 例	侵襲性肺炎球菌感染症	17 例	水痘（入院例）
	梅毒	74 例	播種性クリプトコックス症	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
	百日咳	16 例			

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 112%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患は特になかった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 2,484 人(0.8)で前週比 125%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.0)の約 0.3 倍であった。鳥取県(3.3)、福岡県(2.0)、山形県(1.9)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 7,637 人(2.4)で前週比 114%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(10.2)の約 0.2 倍であった。山形県(9.3)、佐賀県(7.2)、福岡県、大分県(7.0)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2020年11月>

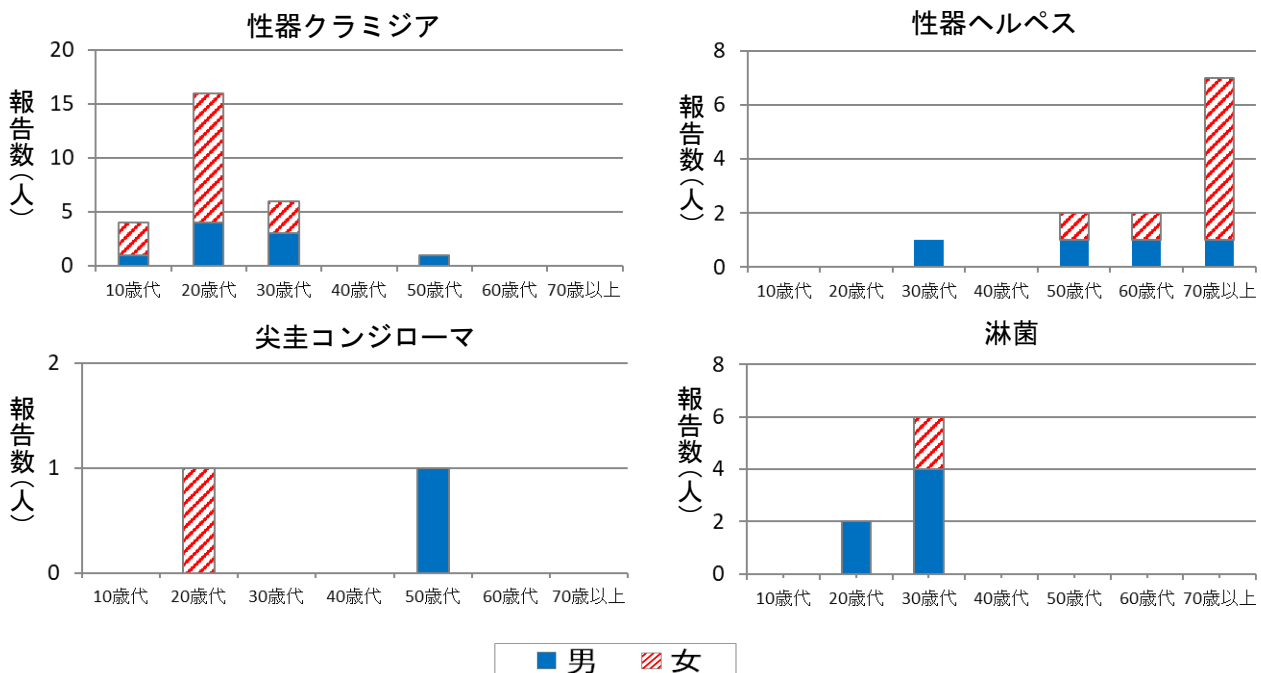
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は49人(3.8)で、前月比91%と減少した。また、昨年11月(2.2)の175%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数27人(2.1)で、前月の約0.8倍、昨年11月の約1.6倍であった。
20歳代が全体の約6割を占めた。(男性9人・女性18人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数12人(0.92)で、前月の1.5倍、昨年11月の約2.4倍であった。
(男性4人・女性8人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の0.7倍であった(昨年11月は報告なし)。
(男性1人、女性1人)
- 淋菌感染症：報告数8人(0.62)で前月の約0.7倍、昨年11月の約1.3倍であった。
(男性6人、女性2人)



【全国】 定点医療機関総数：982

定点医療機関からの報告総数は4,113人(4.2)で、前月比86%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,230人(2.3)で前月比85%、性器ヘルペスウイルス感染症706人(0.72)で前月比88%、尖圭コンジローマ402人(0.41)で前月比79%、淋菌感染症775人(0.79)で前月比90%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人(2.6)で、前月比164%と増加した。また、昨年11月(2.0)の129%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人(2.6)で、前月の約1.6倍、昨年11月の約1.3倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,280人(2.7)で、前月比94%と減少した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,169人(2.5)で前月比91%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症100人(0.21)で前月比175%、薬剤耐性緑膿菌感染症11人(0.02)で前月比67%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第50週(12月07日～12月13日)

疾病名	第49週	第50週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
RSウイルス 感染症	報告数 定点当り	35 0.97	33 0.92	3 0.30	21 3.50	0.00 0.00	0.00 0.00	1 0.25	0.00 0.00	8 2.00	0.00 0.00
咽頭結膜熱	報告数 定点当り	14 0.39	21 0.58	6 0.60	4 0.67	3 0.75	1 0.33	4 1.00	1 1.00	2 0.50	0.00 0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数 定点当り	59 1.64	77 2.14	21 2.10	4 0.67	13 3.25	25 8.33	5 1.67	5 1.25	1 1.00	3 0.75
感染性胃腸炎	報告数 定点当り	114 3.17	106 2.94	23 2.30	20 3.33	4 1.00	2 0.67	21 7.00	12 3.00	2 2.00	16 4.00
水痘	報告数 定点当り	2 0.06	13 0.36	3 0.30	4 0.67	1 0.25	1 0.33	3 1.00	0.00 0.00	1 1.00	0.00 0.00
手足口病	報告数 定点当り	46 1.28	59 1.64	6 0.60	16 2.67	4 1.00	25 8.33	0.00 0.00	3 0.75	2 2.00	2 0.50
伝染性紅斑	報告数 定点当り	2 0.06	2 0.06	2 0.20	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
突発性発しん	報告数 定点当り	30 0.83	23 0.64	8 0.80	4 0.67	3 0.75	2 0.67	1 0.33	4 1.00	0.00 0.00	1 0.25
ヘルパンギーナ	報告数 定点当り	21 0.58	19 0.53	10 1.00	3 0.50	2 0.50	1 0.33	0.00 0.00	2 0.50	0.00 0.00	1 1.00
流行性耳下腺炎	報告数 定点当り	3 0.08	1 0.03	0.00 0.00	0.00 0.00	1 0.25	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
急性出血性結膜炎	報告数 定点当り	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
流行性角結膜炎	報告数 定点当り	2 0.33	1 0.17	1 0.33	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
細菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
無菌性髄膜炎	報告数 定点当り	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数 定点当り	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
クラミジア肺炎	報告数 定点当り	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数 定点当り	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～50週)

2類感染症	結核	150例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23例		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	7例
	つつが虫病	41例(4)	日本紅斑熱	13例
	レプトスピラ症	1例	重症熱性血小板減少症候群	5例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	7例	ウイルス性肝炎	6例
	急性脳炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
	後天性免疫不全症候群	4例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例
	水痘(入院例)	9例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例
	破傷風	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	611例(46)	侵襲性肺炎球菌感染症	10例
			梅毒	33例(2)
			百日咳	37例
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例
			レジオネラ症	9例

()内は今週届出分、再掲